



# 沓掛小学校だより

7月号

未来を拓く ~元気・やさしさ・かがやく瞳~

NO. 591

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

## 「特別の教科 道徳」の時間

副校長 榎本 純子

今年度から道徳が教科化され「特別の教科 道徳」となったことは、すでに御存知かと思います。そこで本校では、これまでの道徳の授業とは何が違うのか、道徳の授業で子供たちに身に付けさせたい力とはどのようなものなのか等をよりよく理解するため、校内研究で道徳科を取り上げ、研究を進めています。6月には、2年生と4年生の道徳科の授業を教員全員で参観しました。

2年生では「森のともだち」というお話を通して、友情について考える授業を行いました。ふだんは乱暴者のキツネのこんきちがオオカミにおそわれそうになったときに、周りの友達はこんきちを助けるのかどうか、助けてもらったこんきちはどんな気持ちになるのかについて、いろいろな考えが出てきました。4年生では「いっしょになって、わらっちゃだめだ」というお話を通して、からかわれている友達がいたときに、一緒になってからかうのか、それとも同調しないで行動できるのかということについて話し合いました。どちらの授業でも大切にされたことは、登場人物の立場にたって気持ちを想像し、自分の考えをもつことと、自分とは違う考え方があることを知り、様々な考えを交流することで自分の考えを深めていくことです。つまり、自分とは違う考え方でも「受け入れる力」をつけることと、道徳的な「判断力」を育てることを重視しています。子供たちには、価値観が多様化し、様々な情報があふれているこれからの世の中を生きていくために、正しい判断をし、それを行動に移していく力をつけてほしいと思います。しかし、わずか週1時間の授業だけで、どんな友達にも優しくできるようになるとか、周りにつられないで正しい行動ができるようになるはずはありません。道徳の時間を中心としながら、学校生活のすべての場面でたくさん対話をして、子供たちの心を育てていきたいと考えています。ぜひ御家庭でも、ときには道徳科の授業のことを話題にしたり、道徳の教科書を一緒に読んだりする時間をもっていただければと思います。(校内研究については「けんきゅうだより」でも随時お知らせしていきますので、ぜひお読みください。)

1学期も残り3週間となりました。今学期も保護者の皆様、地域の皆様の御協力のおかげで、充実した教育活動を行うことができました。ありがとうございました。

### 留守番電話対応が始まります

5月にお知らせしました通り、杉並区の公立小中学校では、教員の働き方改革の一環として、7月1日から留守番電話が設置されることになりました。年間を通して午後6時30分から翌日午前7時30分までは、留守番電話対応となり、応答メッセージが流されます。「ただいまの時間は学校の業務時間外となっております。」というメッセージで、録音機能はありません。また、8月13日～15日の学校閉庁日においては終日運用します。御理解と御協力をよろしく願いいたします。来週、区からの通知も出ますので、詳しくはそちらを御覧ください。